

平成 29 年度

学校法人爽青会

専門学校ルネサンス・デザイン アカデミー

【自己点検・評価および学校関係者評価報告書】

平成 30 年 3 月

学校法人爽青会

専門学校ルネサンス・デザイン アカデミー

自己点検・評価委員会／学校関係者評価委員会

1 本校の概況

1. 設置者 学校法人 爽青会 理事長 中野勸次郎
2. 学校名 専門学校ルネサンス・デザイン アカデミー
3. 校長名 中野勸次郎
4. 認可 平成7年3月20日
5. 開校 平成7年4月1日
6. 所在地 〒430-0943 静岡県浜松市中区北田町 130-12 (Tel) 053-452-2121
7. 課程 文化・教養専門課程
8. 学校の沿革
 - 平成7年3月 専修学校制度に基づき、専修学校の認可を受ける
 - 平成7年4月 専門学校ルネサンス・アカデミー オブ デザイン開設
 - 平成17年4月 専門学校ルネサンス アカデミーに校名変更
総合デザイン学部・動物関係学部を開設
 - 平成20年3月 学校法人爽青会 認可
 - 平成21年4月 専門学校ルネサンス・デザイン アカデミーに校名変更
 - 平成26年3月 設置4学科で職業実践専門課程認定
 - 平成27年4月 イラストレーション科、広告・写真・Web デザイン科で3年制課程開始
 - 平成28年4月 衛生専門課程 美容師科開設

9. 校訓

Every dog has his day. (みんな輝くときが来る)

10. 教育目標

日本人ならではの徳性・新旧の美意識と接客から学び、日本流・新デザインを世界に問う

重点項目

- ・教育理念教育（幹部職員研修を実施）
- ・第三者評価の維持（学校関係者評価の継続）
- ・入学者増員対策（3年制の進化・定着およびマスター科の活用）
- ・納得・自活就職内定の進化（早期予測の進化、新規開拓30軒と分析、
就職保護者会による保護者協力体制構築）
- ・3年制学科の就職先進化（新たな有力企業開拓、及び厚待遇企業への内定実績）
- ・新学科：美容師科の安定運営（国家資格試験対策授業、学生募集強化、教員の育成&採用）
- ・新3年制学科の3年次教育計画／就職指導方針策定
広告・写真・Web デザイン科：オペレーター教育からの脱皮・自主自立心の育成授業の試行
イラストレーション科：大手ゲーム系企業内イラストレーター就職への挑戦
- ・最終学年（プロマンガ科の効率運営）
- ・学生数減に伴う授業運営の効率化・担任の兼任

1 1. 設置学科（平成 29 年度～）

イラストレーション科（昼 3 年 男女 定員 40 名）

広告・写真・Web デザイン科（昼 3 年 男女 定員 40 名）

プロマンガ科（昼 2 年 男女 定員 40 名）

ブライダル・トータルビューティー科（昼 2 年 男女 定員 40 名）

マスター科（昼 1 年 男女 定員 5 名）

1 2. 学生数 （平成 30 年 2 月 1 日現在） 150 名

1 3. 教職員数 （平成 30 年 2 月 1 日現在） 18 名

1 4. 学校建物面積 2 1 1 5 m²

2 自己点検・自己評価委員会

1) 委員名簿

1. 学校長 中野勘次郎 (委員長)
2. 本部長 中野祐子
3. 教務部 池田孝司
4. 教務部 前田健一
5. 事務局 林千洋
6. 事務局 杉浦英樹
7. 教務部 竹田侑里
8. 教務部 大城陽功

・監査委員

1. 顧問 田中克己
2. 事務局 鈴木博昭

2) 自己点検・自己評価制作の流れおよび委員会開催記録

- 平成29年11月28日 自己点検・評価委員会 第1回会議
平成29年12月19日 自己点検・評価委員会 第2回会議
平成30年1月16日 自己点検・評価委員会 第3回会議
平成30年2月5日 自己点検・評価委員会 内部監査
平成30年2月9日 設置者への報告
平成30年2月26日 学校関係者評価委員会
平成30年3月3日 学校法人爽青会理事会報告
平成30年3月9日 第1回講師会にて共有
平成30年4月2日 ホームページにて外部への公開

3 学校関係者評価委員会

1) 委員名簿

1. 安倍 徹 アン ランゲージ スクール校長/元静岡県教育長
2. 鈴木 かおる 株式会社浜松ビジネススクール 代表
3. 安武 伸朗 UX (User Experience) Shizuoka 代表
4. 原 大二郎 公益社団法人日本動物病院協会 監事

2) 開催日・場所

- 平成30年2月26日 専門学校ルネサンス・デザイン アカデミー401教室にて開催

4 評価一覧

	評価項目 《適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1》	自己点検 自己評価	学校関係者 評価
1 教育理念・目標	① 理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	4	4
	② 学校の将来構想を描くために、業界の動向やニーズを調査しているか	4	4
	③ 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4	4
	④ 学校における職業教育の特色は明確になっているか	4	4
	⑤ 理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	4	4
2 学校運営	① 専修学校設置基準及び職業実践専門課程の認定要件に沿った適切な運営がなされているか	4	4
	② 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4	4
	③ 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4	4
	④ 目的等に沿った事業計画が策定されているか	4	4
	⑤ 事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4	4
	⑥ 人事、給与に関する制度は整備されているか	4	4
	⑦ 教職員と非常勤講師等との定期的な情報共有を図っているか	4	4
	⑧ 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3	3.3
	⑨ 教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4	4
	⑩ 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	4
	⑪ 教育方針や目標を含むマネジメントシステムの継続的な適合性、妥当性、有効性を確保するためにマネジメントレビューを実施しているか	4	4
	⑫ 学生や保護者、その他利害関係者からの苦情・要請等への対応など、不適合を特定し、対処する手順（予防処置及び是正処置）を確立しているか	3	3.5
	⑬ 利害関係者が不満を抱いている場合や、利害関係者と学校側とで意見の相違がある場合の相談受付方法を案内しているか	4	4
3 教育活動	①教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	4
	②キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3	3.5
	③教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	4
	④デザイン・ビューティー関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	4

	⑥ 資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3	3.0
	⑥学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	4
	⑦ Can-Do を意識した各科目の授業シラバスが作成されているか	3	3.3
	⑧デザイン・ビューティー関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4	4
	⑨シラバスあるいは講義要項などが事前に学生に配布されているか	3	3.3
	⑩実習室等の学校施設、設備の利用割り当て（スケジュール管理）が明確になっているか	4	4
	⑪学生によるアンケートなどで、適切に授業評価を実施しているか	4	4
	⑫成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4	4
	⑬職業教育に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	4
	⑭ 授業評価の実施・評価体制はあるか	2	2.8
	⑮閲覧権限の設定がなされ、個人情報保護への配慮がされているか	4	4
	⑯教育の質向上に役立つ改善点を明確にするために、教育を提供している状況（学習環境等）を確認・検証しているか	4	4
	⑰人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	4
	⑱教職員のコンピテンシーを職務記述書と関連付けながら評価し、それらの評価結果を記録しているか	3	3.3
	⑲デザイン・ビューティー関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3	3.3
	⑳職員の能力開発のための研修等が行われているか（研修等の効果を評価し、文書により記録しているか）	3	3
	21 デザイン・ビューティー関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含め）の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	2	2.8
4 学 修 成 果	①学生の学修成果の評価に際して、育成する人材像に沿った評価項目を定め、明確な基準で実施されているか	4	4
	②卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3	4
	③評価目標ならびに想定される評価範囲を記述できているか	4	4
	④学生の評価だけでなく、教職員やカリキュラムの評価も含め、評価方法及び手段、スケジュール及び根拠を記述しているか	4	4
	⑤成績証明書等、評価結果が社会的通用性を高める形式となっているか	4	4
	⑥ニーズ調査結果に基づき目的（到達目標）を設定し、目的に対する評価を結論としてとりまとめた評価報告書を作成しているか	3	3.3
	⑦学習サービス（教育・訓練）を受託または委託する場合、目的、要望、最終目標及び要件を明確にしているか	3	3.3

	⑧卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4	4
5 学生支援	① 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	4
	② 学生相談に関する体制は整備されているか	4	4
	③ 保護者と適切に連携しているか	4	4
	④ 社会人学生のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	2	2.8
	⑤ 卒業生への支援体制はあるか	3	3.3
	⑥図書室・図書コーナー等、ホットライン、カウンセリングサービス、コンピュータの利用、メンタリングなどの学習サポートについて案内しているか	3	3.5
	⑧ 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4	4
	⑧学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	4
	⑨課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	4
	⑩学生の生活環境への支援は行われているか	4	4
	⑪高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	4
6 教育環境	①施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	4
	②学校施設・備品等が定期的に管理・点検されているか	3	3.3
	③教職員に対して、学習指導のための教育訓練や安全管理のための避難訓練を実施しているか	4	4
	④防災に対する体制は整備されているか	4	4
	⑤学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	4
7 学生の受入れ募集	①学生募集活動は、適正に行われているか（例えば、入学願書などの契約書を取り交わし、それらの文書を適切に管理しているか）	4	4
	②履歴書（学歴、所有資格など）を適切に入手し、適切な管理を行っているか	4	4
	③学校案内等には選抜方法など、入学に必要なスキル、資格、職業経験などの、前提となる要件が明示されているか	4	4
	④学校案内等に、学費、受験料、学習教材の購入費等が明示されているか	4	4
	⑤学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	4
	⑥評価手段及びその基準、修了時に発行される証明書等について説明しているか	4	4
	⑦学力の不足や障がいに関する特別なニーズを特定しているか	4	4
	⑧教育の履行、人的・物的資源の提供、個人情報取り扱い、安全管理など、学校側の義務と責任を学生と保護者に案内しているか	4	4
	⑨学納金は妥当なものとなっているか	4	4
	⑩志願者状況、定員充足率はどうか	2	2.8

8 教育の内部質保証システム	①個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	4
	②法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	4
	③文書管理規程、文書管理リスト（ファイル管理簿）ならびに決裁の流れを含む決裁規程（文書処理規程）が文書化されているか	2	3
	④自己点検・評価や内部監査の実施と問題点の改善に努めているか	3	3.3
	⑤監査や評価基準の知識を有する適任者により適切に監査され、当該課程・部署の責任者に監査結果を報告しているか	4	4
	⑥ 内部監査での指摘事項として、改善すべき点を明確にしているか	3	3.3
	⑦内部監査の結果を受けて取られる処置が、適切な時期及び適切な方法で実施されているか	3	3.3
	⑦ 自己点検・評価結果を公開しているか	4	3.8
9 財務	①財務について会計監査が適正に行われているか	4	4
	②財務情報公開の体制整備はできているか	4	4
	③中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3	3.3
	④予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	4
10 社会貢献・地域貢献	①学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	4
	②学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	4
	③地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	3	3.5
11 国際交流（必要に応じて）	①留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	-	-
	②留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	-	-
	③留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	-	-
	④学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	4	4

5. 評価の理由とコメント

	評価項目: 適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1	自己点検・自己評価		学校関係者評価	
		評価	評価の理由	評価	コメント
1 教育理念・目標	1 理念・目的・育人人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4	理念・目的・育人人材像は毎年検討・更新され、教職員は原点確認研修資料、学生は学生必携にて周知している。	4	(安倍)学生必携の巻頭言が学生に向けての言葉になっているか。(安倍)教育理念、目的、育人人材像等、学校が目指す方向性については、繰り返し伝えていく必要がある。(原)正しく解釈され実施できている。(安武)主語が「学校」「教職員」「社会」といった印象があり、「学生が～できるようになる」といった具体性があっても良いのではないかと。
	2 学校の将来構想を描くために、業界の動向やニーズを調査しているか	4	学校関係者評価委員会や教育課程編成委員会、またインターンシップ等における職員の企業訪問やイベント視察を通じて、業界の動向・ニーズを調査している。	4	(安倍)教育理念、目的、育人人材像等、学校が目指す方向性については、繰り返し伝えていく必要がある。(安武)教育機関として、業界(=職業=キャリア(人生設計)の変化(変化そのものへの需要)(=卒業年次～本人の20代中盤)への対応度・理解度は、評価する項目(判断基準)が見つけにくい。浸透⇄実施(鈴木)良く調査されている。
	3 各学科の教育目標、育人人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4	教育課程編成委員会・実習日誌企業評価と学生授業評価を基に学科運営計画を立て、シラバスを作成している。	4	(安倍)教育理念、目的、育人人材像等、学校が目指す方向性については、繰り返し伝えていく必要がある。(原)教育内容と産業界ニーズに対応されており優れている。
	4 学校における職業教育の特色は明確になっているか	4	デザイン・ビューティー系の職種として実践教育を展開する学科を4つに分類して運営している。	4	(安倍)教育理念、目的、育人人材像等、学校が目指す方向性については、繰り返し伝えていく必要がある。
	5 理念・目的・育人人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	4	OCや保護者説明会、入学式後の説明会、オリエンテーションにて複数回説明の場を設定し周知している。	4	(安倍)教育理念、目的、育人人材像等、学校が目指す方向性については、繰り返し伝えていく必要がある。(安武)授業を受ける際の学生心構えや行動・態度にまで浸透できるような「文書・コピー」が必要な段階か。(鈴木)OC時の担当職員の説明・対応など、周知に合わせて信頼関係の構築まで作り込んでいる。

① 課題

教育理念等は明確に定められ、文書等で教職員並びに学生・保護者に適切に提示説明している。

② 今後の改善方策

継続実施する。

③ 特記事項

爽青会オリジナルの「伸びシロのある人材養成プログラム」を2017年度から運用予定。

《学校関係者評価委員会での意見》

1 ISOの評価は、「実施状況」に対しての評価なのか、又は「成果」に対しての評価なのか？

・動物業界に関しては、評価基準が実施評価は「3」、成果が出てきたら「4」評価と言う流れになっている。

2 教育理念や目標は、学生が見てわかりやすい文章になっているかは疑問に感じるがどうか。

・各教室にも教育理念等も掲示しているが、わかりにくいところもあるため、「ルネサンスメソッド」という授業で噛み砕いて説明している。今回は「周知」が評価基準となっているが、本来は浸透させることが大切のため、今後も学生理解に取り組んでいく。

	評価項目: 適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1	自己点検・自己評価		学校関係者評価	
		評価	評価の理由	評価	コメント
2 学校運営	1 専修学校設置基準及び職業実践専門課程の認定要件に沿った適切な運営がなされているか	4	必要に応じて学則変更を適宜実施し、専修学校設置基準及び職業実践専門課程認定要件に沿った運営をしている。	4	(安倍)計画的できめ細かな学校運営が行われている。
	2 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4	就業規則内で定める運営組織や意思決定機能を校務分掌に落とし込み、適切に機能させている。	4	(安倍)同上
	3 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4	財務は経理規定で、教務に関しては主として学科運営方針にて、意思決定システムを整備している。	4	(安倍)同上
	4 目的等に沿った事業計画が策定されているか	3	事業計画策定は理事会・評議員会にて適切に行われている。	4	(安倍)同上
	5 事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4	毎年反省・見直しを実施し、学校長の承認を経て運営方針を策定している。	4	(安倍)同上 (安武)BT・HDの教材運営資料がPDCAサイクルに準じた良いサイクルが読み取れます。版面、イラストなどの学科に関しては、計画一方針等の流れが、教職員で共有されていないか、やや分かりにくい印象でした。
	6 人事、給与に関する制度は整備されているか	4	人事制度マニュアルにて整備している	4	(安倍)同上 (原)ペット部門と統一すると良い。
	7 教職員と非常勤講師等との定期的な情報共有を図っているか	4	年2回の講師会全体会にて意思統一を図り、分科会にて学科ごと情報共有の場を設けている。毎授業ごと授業報告書にてリアルタイムな共有を図っている。	4	(安倍)同上
	8 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3	苦情等に対する対応マニュアルが作成されており、対応を記録するノートで事例を共有できるように取り組み始めているが徹底に不足がある。	3.3	(安倍)同上 (原)クレーム数もごく少量で、内容も問題が少ない。
	9 教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4	職業実践専門課程認定条件に準拠した情報を公式ホームページにて公開している。	4	(安倍)同上
	10 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	学内グループウェアの活用ならびにサーバ管理システムにより、業務効率化が図られている。	4	(安倍)同上
	11 教育方針や目標を含むマネジメントシステムの継続的な適合性、妥当性、有効性を確保するためにマネジメントレビューを実施しているか	4	月に1回の経営会議内において、教育の現状把握・分析とともに学校運営の仕組みそのものについても見直しを図っている。	4	(安倍)同上
	12 学生や保護者、その他利害関係者からの苦情・要請等への対応など、不適合を特定し、対処する手順(予防処置及び是正処置)を確立しているか	3	予防措置及び是正措置規定は作成されているが、全職員への徹底に不足がある。	3.5	(安倍)同上 (原)日頃の指導が良くされている。 (鈴木)全職員が同じレベルである必要はあるが、意識の高い職員が複数存在している。
	13 利害関係者が不満を抱いている場合や、利害関係者と学校側とで意見の相違がある場合の相談受付方法を案内しているか	4	相談受付方法は学生必携に明記し、オリエンテーションにて周知している。また、ホームページに問い合わせフォームを設置し、学外からの相談窓口も設置している。	4	(安倍)同上

① 課題

是正処置及び予防処置規定、問い合わせ等対応の基本マニュアルはあるが、利害関係者からの苦情・要請についての事例・対応・効果についての記録がまだ少ないのが現状。

② 今後の改善方策

新職員も含め是正処置及び予防処置規定、問い合わせ等対応マニュアルについて説明を続け、苦情・要請についての事例・対応・効果についての記録を継続してゆく。また教務部会等で定期的に回覧を続ける。

③ 特記事項

なし

《学校関係者評価委員会での意見》

12 学校に対して苦情や要請は、今の時代を反映して、益々増えている印象を持っているが、理不尽な要求などはないか？

・「クレームノート」に書かれている内容は、以下の3項目でした。

①近隣の駐車場に自転車を放置 ②卒業生の就職先での給与が求人票と違う ③他学科のゲスト講師の授業を受講できるようにしてほしい

12 日頃からきめ細かな保護者への対応をしているので、あまり出ていないのではないか。

・ペットは動物がいるため、近隣とのトラブルは特に気を付けているが、今年はクレームが1件も無かった。

	評価項目: 適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1	自己点検・自己評価		学校関係者評価	
		評価	評価の理由	評価	コメント
1	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	左記内容を2段階で明確にしている。学科の教育達成レベルは教育目標である「学科の使命」で、各授業の到達レベルと学習時間は学生必携にて明記し、学生達が常に確認できる環境も作られている。	4	
2	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3	教育課程編成委員会や企業訪問を通じてキャリア教育や職業教育への工夫は検討されているが、授業スキル向上に向けた取り組みは今後の重点課題である。	3.5	(安倍)3-2教育方法の工夫・開発と、3-20職員の能力開発は、一体的に行うことにより、実効性を増すものを思われる。
3	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	本校の教育理念とそこからの年度毎の振り返りを会議し、学科として実施方針を策定している。本校は、理念を軸とし時代のニーズと業界の動向の3つの視点で学科方針を決定している。	4	
4	デザイン・ビューティー関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	年2回行われる教育課程編成委員会での意見聴取を始め、インターンシップや企業訪問、各研修で得た情報を年度毎、早ければ「期」毎に作成・見直しを行っている。	4	
5	資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3	カリキュラム内での位置づけや指導体制は、毎年度改善と見直しが行われているが、合格率を上げる為には、指導体制に改善が必要と考える。一方で、この内容に関しては、正解がないため、毎回の見直しは必要である。	3	(原)取得率が全国値より低い。 (安武)資格取得が(学科の特性に準じて)教育の中での優先順位は異なると考えます。したがって一概に合格率を目標として「3」にする必要があるかどうか疑問です。 (鈴木)全国平均に並ぶための具体的項目を見直し取り組んでいただきたい。
6	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	教育目標と学習習得ステージを基に、専門講義科目、専門実習科目、一般科目に分類し、実習と講義のバランスがとれたカリキュラムを編成している。	4	

3 教育活動	7	Can-Doを意識した各科目の授業シラバスが作成されているか	3	Can-Doを意識したシラバスは作成されているが、家庭での学習時間明記など、一部改善が必要である。	3.3	(原) 自宅学習の指導に不足。
	8	デザイン・ビューティー関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4	実践的な職業教育として、本校ではインターンシップ、企業コラボレーション、外部イベント、各種研修(国内外)を学生レベルと時期を考え実施している。	4	
	9	シラバスあるいは講義要項などが事前に学生に配布されているか	3	年度始めのオリエンテーションにて配布しているが、変更する場合や授業同志の連携が必須な科目のシラバスは、口頭での伝達もある。その点を今後は改善していきたい。	3.3	(原) 途中改定時が文書化されていない。
	10	実習室等の学校施設、設備の利用割り当て(スケジュール管理)が明確になっているか	4	授業名、担当者、使用学科が分かる様、タイムテーブルにて一覧表にし、講師会資料等で共有している。また、デスクネッツを通し、常に管理している。	4	
	11	学生によるアンケートなどで、適切に授業評価を実施しているか	4	各期ごとに行われている授業アンケートを通じて、授業内容・指導方法・使用教材などを評価・検証している。	4	(安倍) 授業評価については、評価者(○学生 ○講師本人 ○他の講師 ○教務主任・管理職)による評価結果を有機的に結び付けて生かしていく必要がある。
	12	成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4	学生必携にて、成績評価、単位認定および進級規程等が明確に記載され周知されている。	4	
	13	職業教育に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	教育課程編委員やインターンシップ受け入れ企業への訪問や実習評価表への評価を受け、その後の学生指導やカリキュラムの編成に活かしている。	4	
	14	授業評価の実施・評価体制はあるか	2	新任講師着任時の評価体制はあるが、通常授業は体制化されていない。学生からの評価はもちろん、常勤・非常勤相互の授業公開や指導方法の研究会の実施が必要である。	2.8	(安倍) 授業評価については、評価者(○学生 ○講師本人 ○他の講師 ○教務主任・管理職)による評価結果を有機的に結び付けて生かしていく必要がある。 (安武) 評価項目が重要。学生アンケートの読み取りを行い、共有するだけで十分では？(鈴木) 改善すべき課題の説明があったので、計画しゆるやかにでも実施はじめていただきたい
	15	閲覧権限の設定がなされ、個人情報保護への配慮がされているか	4	就業規則や講師契約書に個人情報の保護に関する規程を設け、またデータ等はアクセス制限を設け個人情報保護に配慮している。	4	
	16	教育の質向上に役立つ改善点を明確にするために、教育を提供している状況(学習環境等)を確認・検証しているか	4	講師の意見を授業報告書から、学生の声を授業アンケート等から集め、定期的開催する教務部会や学科会議、講師会で学習環境等の確認を確認・検証している。	4	
17	人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	確保している。その要件を備えている事を確認するため、職務経歴書や各種研修の参加、学生からの授業アンケートからのコメントで把握している。	4		
18	教職員のコンピテンシーを職務記述書と関連付けながら評価し、それらの評価結果を記録しているか	3	教職員の評価は、年2回「行動評価」として記録している。しかし、在職年数で変化するコンピテンシーが職務証明書に落とし込まれていない。	3.3		

19	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3	左記の取り組みに対する、高い意識はあるが、実際に業務量や授業等のスケジュール面において、行動までに至っていない。個人的な時間を使う事が多いため、業務時間中での取り組みが出来る環境を作りたい。	3.3	(安武)研修、研究予算は確保・明示されているか？自己申告の仕組み
20	職員の能力開発のための研修等が行われているか(研修等の効果を評価し、文書により記録しているか)	3	能力開発のための研修は実施されている。しかし研修効果に対する評価・記録が存在していない。	3	(安倍)3-2教育方法の工夫・開発と、3-20職員の能力開発は、一体的に行うことにより、実効性を増すものを思われる。 (原)記録が不足。 (鈴木)実施後の各自の振り返りが重要。実施後報告時に組み込んでいただきたい。
21	デザイン・ビューティー関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	2	学科で差があるが、全てにおいてマネジメント化されている訳ではない。業界等との連携が増加したことは、昨年度より改善出来ているが、ポイントでしか取り組めていない。	2.8	

① 課題

・最新の業界動向や技術に関する職員の知見を広げるため定期的な視察・研修が必須であるが、それが年間計画として取りまとめられていない。

② 今後の改善方策

・次年度に向け、各職員の適性・職制に合わせた研修計画を立て、その研修成果を測ることが出来る体制づくりを行う。

③ 特記事項

デザイン系常勤職員の安定的人材確保は課題である。

《学校関係者評価委員会での意見》

5 学科によって資格取得と就職直結具合が異なるが、その辺も評価に考えられているのか

・論理的に知識を入れるために検定の取得は大切である。対策授業等も見直す必要があると考えている。

	評価項目: 適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1	自己点検・自己評価		学校関係者評価	
		評価	評価の理由	評価	コメント
1	学生の学修成果の評価に際して、育成する人材像に沿った評価項目を定め、明確な基準で実施されているか	4	成績表は各科目のA～D評価に加え、授業を横断した能力別マトリクス評価を実施し、多角的に評価している。また、修了、卒業時には、学生の進路と合致した審査員を招き、担当者と共に能力の判定を実施している。	4	
2	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3	在校生は、インターンシップや企業コラボレーション、ボランティア等の課外活動にて把握している。一方、卒業生は、企業訪問や同窓会、SNS等を通し全てではないが把握できている。	4	(安武)20周年記念事業等を運営されており、できる限りの卒業生の把握の取組は充分にあると思います。
3	評価目標ならびに想定される評価範囲を記述できているか	4	科目ごとにシラバスにて記述されている。到達目標が段階的に項目分けされており、評価範囲が理解できるように記述されている。内容について、講師と職員間で意見交換し、年度毎に見直している。	4	
4 学 修	学生の評価だけでなく、教職員やカリキュラムの評価も含め、評価方法及び手段、スケジュール及び根拠を記述しているか	4	学生への「授業アンケート」「学校満足度調査」や教育課程編成委員会にて、教職員やカリキュラムの評価を行えている。評価方法などについては、講師会にて書面化し、非常勤を含め全職員で共有出来ている。	4	

成果	5	成績証明書等、評価結果が社会的通用性を高める形式となっているか	4	成績評価項目は、専門性においては、業界で必要とされる最も基本となる項目を厳選し、社会性においては、ビジネス能力や対外活動記録を用いることで、各人の技能と人間力を共に示すことが出来ている。	4
	6	ニーズ調査結果に基づき目的(到達目標)を設定し、目的に対する評価を結論としてとりまとめた評価報告書を作成しているか	3	教育面、進路指導の面ともに、講師会や教育課程編成委員会などで、数値データをまとめた資料を以て報告書としている。しかしながら、明確な評価報告書というフォーマットは存在していない。	3.3
	7	学習サービス(教育・訓練)を受託または委託する場合、目的、要望、最終目標及び要件を明確にしているか	3	明確にしている。授業目的や最終目標は講師会にて書面提示し共有検証も図っている。しかし、要望に関しては、口頭での打ち合わせが多いため、記述を強化すると共に、方針にずれが生じないよう細かなチェックが必要。	3.3
	8	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4	各学科、年に数回、卒業生講話を実施し、その際に出た実情やヒアリングをもとに、在学中に学ぶべきことを精査している。また、企業訪問を行い、卒業生に対する企業側の意見を招集し、教育活動の改善を図っている。	4

① 課題

卒業生の評価や動向把握は、就業先へのインターン訪問時などで実践を試みているが、量的に不十分である。また、大都市圏での就職の増加を見越した場合、訪問による調査だけでは限界が来るのではないかと。

② 今後の改善方策

卒業生の社会的活躍や、就業先の変化を含めた動向を把握するために、オンライン・オフライン双方での卒業後アンケートの定期的な実施が求められる。また、在学時から、この調査への協力を意識づけさせる方策を検討しておくたい。

③ 特記事項

なし。

《学校関係者評価委員会での意見》

- 6 到達目標に対する評価としてエビデンスで上げている講師会資料は教員の指導目標であり、教育目標でないのではないかと。捉え方として、学科目標の方があっているのではないかと。
- ・半部分が講師目標であり、半部分が教育目標である
- 1 教育成果や学習成果は数値化しにくい為、定性評価できる内容にする必要があるのではないかと。例えば、離職率の追跡調査をすることで、見えてくる成果もあるのではないかと。
- ・離職率調査は数年おきに実施しているが、現状、回答率が低いため、実情把握のデータとしては不完全な印象である。元担任からの情報、企業訪問等、足を使って調査もしているが、感覚値でしかないのが現状である。ただし、ここ3、4年で離職率はかなり下がったという印象を持っている。
- 1 学生の内定先企業に学校の評価を聞くことはしているのか。
- ・企業からの聞き取り調査では、「現実的なクリエイター志向の学生が多い(作家的なアーティスト系ではない)」と企業から評価されることがある。
- 1 全体的に学校の自己点検・評価は厳しく査定しすぎている印象である。3の評価のものも全てが出来ていないわけではないので。

	評価項目: 適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1	自己点検・自己評価		学校関係者評価	
		評価	評価の理由	評価	コメント
5 学生支援	1 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	学生必携にて就職活動の支援体制について説明し、就職セミナーやインターンシップなどの支援行事を実施している。また、就職状況に関しては定期的に会議を開催し、情報共有を図っている。	4	(安倍)学生相談、健康管理等、学生への支援は手厚く行われている。リカレント教育の視点からも、社会人学生、卒後教育は大切な取り組みである。
	2 学生相談に関する体制は整備されているか	4	クラス担任との個別相談や就職担当との就職相談、面接指導などに加え、学校カウンセラーによる相談も行っている。	4	(安倍)同上
	3 保護者と適切に連携しているか	4	授業参観、個別面談を実施し、日頃の学習状況への理解、共有を図っている。また、就職に関しては、就職保護者会を通じ、学校と家庭との連携を密にし、ミスマッチのない就職指導をしている。	4	(安倍)同上
	4 社会人学生のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	2	社会人学生への教育環境の説明は実施しているが、それぞれのニーズに対応した体制は整備されていない。	2.8	(安倍)同上 (安武)経営(運営)方針として、社会人学生を重視するのかどうか?という判断に準じれば良いように考えます。
	5 卒業生への支援体制はあるか	3	卒業生加入の校友会組織、卒業生向けFacebook、LINEなどにより卒後セミナー等の告知、卒業生対象の学校求人紹介などを実施しているが、周知徹底できておらず支援体制としての確立が不十分である。	3.3	(安倍)同上 (鈴木)支援体制い整っていると思う。
	6 図書室・図書コーナー等、ホットライン、カウンセリングサービス、コンピュータの利用、メンタリングなどの学習サポートについて案内しているか	3	学生が利用できるPC等学内施設、ネットワーク環境やカウンセリングサービスの活用の為の説明をオリエンテーションで案内しているが、周知徹底は不足している。	3.5	(安倍)同上 (原)図書コーナーで可としている。 (安武)実態として、各教室での図書利用によって学生支援はできていると思いますが、学びの機会を学生側に開放するという点では、やはり3でも適切か。
	7 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4	優遇制度により学生を顕彰するとともに、学生課により奨学金の案内や教育ローン、学費サポートプランなど学生、保護者ともに案内している	4	(安倍)同上
	8 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	学生健康診断を年度当初に適切に実施している。メンタルケアに関しては、学生相談室を学外に設け、対応を行っている。	4	(安倍)同上
	9 課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	企業とのコラボレーションによる商品開発、デザイン提案や自治体、各種団体との地域発展に向けての取り組みを行っている。	4	(安倍)同上
	10 学生の生活環境への支援は行われているか	4	定期的に学生との個別面談を実施し、学生の生活環境を聞き取り、必要な助言を担任や学科長等から伝えている。	4	(安倍)同上
	11 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	高校内で実施される職業説明会等への参加や提携授業を実施し、高校でのキャリア教育との連携、協力を図っている。	4	(安倍)同上

① 課題

卒業時に卒業生との連絡手段の構築はできつつあるが、継続した支援を行う為の体制が不十分である

② 今後の改善方策

卒業生リストのデータ化と管理を徹底し、再就職や卒業教育などの情報提供を行うことができる共通フォームを構築する

③ 特記事項

本校HPを利用した卒業生への情報提供手段を検討中である

《学校関係者評価委員会での意見》

- 5 一般的に専門学校の就職課は、ハローワークに準ずる斡旋機能を持っているのか、また、卒業生の転職サポート支援も付帯されているのか。・在校生・卒業生に対する一般的な機能区分は正確に把握していないが、準ずる機能を持っているのでは、と考えている。また、卒業生支援に関しては、現状は転職相談数が少ない印象である。もっと転職活動に母校を活用してほしいと考えている。

	評価項目: 適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1	自己点検・自己評価		学校関係者評価	
		評価	評価の理由	評価	コメント
6 教育環境	1 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	各教室ごとに教室管理・火元管理責任者を定め、各教室の適切な維持管理と既存設備の保守点検を実施している。	4	
	2 学校施設・備品等が定期的に管理・点検されているか。	3	物品のチェックリストが一部作成されていない。学生による日々の清掃と共に、教室管理担当者による定期的な点検システム構築が必要。	3.3	(原)云術茶持有かも？不徹底があるならば3。 (安武)中期的には、大切な視点(項目)にて、教員+職員(貸出制)による管理が有効か。 (鈴木)自己点検4をめざせる内容だと思うので、改善していただきたい。
	3 教職員に対して、学習指導のための教育訓練や安全管理のための避難訓練を実施しているか	4	地震を想定した避難訓練は実施されている。加えて2016年度よりシェイクアウト訓練を実施し、有事の際の対応力を強化している。	4	
	4 防災に対する体制は整備されているか	4	災害備蓄品の備え、学生避難訓練を毎年8月に実施。静岡県の方針改定に伴い、防災マニュアルを2018年度に向け改訂作業中。	4	(安倍)12月の地域防災訓練への積極的参加を促したい。
	5 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	インターン実習や国内研修、海外授業など、学外で行われる教育活動の前には直前セミナー等を実施し、安全な実習ができるよう指導している。	4	

① 課題

・学校施設・備品等は定期的に管理・点検されているが、物品のチェックリストが作成されていない。

② 今後の改善方策

・学内設備・備品の管理・点検システムを制度化する。

③ 特記事項

・デザイン校として授業外での教室・設備使用の頻度が高いため、環境維持の為に管理・点検する仕組みを定着させる。

《学校関係者評価委員会での意見》

- 2 物品の作成リストが作成されていない理由は何か。

・石膏像など、学科の中で共有管理している物品のリスト作成が不徹底であるため、改善していく。

	評価項目: 適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1	自己点検・自己評価		学校関係者評価	
		評価	評価の理由	評価	コメント
7 学生の受入れ募集	1 学生募集活動は、適正に行われているか(例えば、入学願書などの契約書を取り交わし、それらの文書を適切に管理しているか)	4	AO入試・推薦・一般入試ともに、入学願書の提出を必須とし、その他出願資料と合わせて適切に管理している。また合格通知書、入学許可証等を発行している。	4	(安倍)結果的には定員を充足しなかったが、様々な取組・工夫を行っている。高校との連携、学校開放などにより、理解啓発をさらに行っていく必要がある。
	2 履歴書(学歴、所有資格など)を適切に入手し、適切な管理を行っているか	4	受験時に入学願書、その他出願書類を提出させている。またそれら個人情報入学後、カギのかかる部屋で適切に管理している。	4	(安倍)同上
	3 学校案内等には選抜方法など、入学に必要なスキル、資格、職業経験などの、前提となる要件が明示されているか	4	募集要項を作成し、入学資格及び受験方法を記載し、適切に周知を図っている。	4	(安倍)同上
	4 学校案内等に、学費、受験料、学習教材の購入費等が明示されているか	4	募集要項内に学費等の一覧及び、納入期限等を明示し、受験者及び保護者に卒業までに必要な学費が正しく理解されるよう配慮している。	4	(安倍)同上
	5 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	学校案内を作成し、教育概要を伝えつつ、就職内定速報等を作成し、教育成果の発信に努めている。またオープンキャンパス時には保護者説明会を開催している。	4	(安倍)同上 (安武)教育効果のPR(公開性)も十分と思われる。
	6 評価手段及びその基準、修了時に発行される証明書等について説明しているか	4	学生必携において、学校から発行される証明書の種類や手続き方法を記載し、オリエンテーション等で説明している。	4	(安倍)同上
	7 学力の不足や障がいに関する特別なニーズを特定しているか	4	入学試験において、履修上、就職上支障となる志願者の事情を確認し、履修に不具合がないように受け入れている。	4	(安倍)同上
	8 教育の履行、人的・物的資源の提供、個人情報の取り扱い、安全管理など、学校側の義務と責任を学生と保護者に案内しているか	4	オープンキャンパス時、入学直後の保護者説明会、在学中も年1~2回の保護者説明会にて、学校の組織等を説明している。	4	(安倍)同上
	9 学納金は妥当なものとなっているか	4	学校生活に必要な金額を計算し、請求している。補助活動費には明細を添付し、使途不明金がないようになっている。	4	(安倍)同上
	10 志願者状況、定員充足率はどうか	2	志願者数・入学者数ともに昨年度を上回っているが、定員・目標数までは至っていない。	2.8	(安倍)同上 (原)段階的目標設定も考慮すべきか? (安武)大きな社会変革が最大の要因ではないか。 (鈴木)上回った理由も明確に一つには絞れないだろうが、分析把握に期待したい。

① 課題

・入学者数の確保が課題である。

② 今後の改善方策

・高校1, 2年生や中学生の提携授業、職業教育のための総合学習の受け入れ等、低学年から本校に興味を持たせるための講座にも力を入れる。

③ 特記事項

なし

《学校関係者評価委員会での意見》

7 ・充足率が足りていないことを理由に、7-10の項目が2であるならば、大項目2の「学校運営評価」は全て4という評価は、整合性が取れていないのではないかと印象が残る。そもそもの定員数が高すぎることを再考することも必要ではないか。

5 学生募集活動において、教育成果を伝える手段は、このエビデンスで上げられた項目だけでなく、高校訪問等、他にも細かく説明している機会があるのではないか。

・教育成果を伝える手段のひとつとして、今年新たに、イオン市野、ららぽーと磐田、葵タワー、メイワンの4会場で、卒業制作展として、巡回展示を開始した。

	評価項目: 適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1	自己点検・自己評価		学校関係者評価	
		評価	評価の理由	評価	コメント
8 教育の 内部 質 保 証 シ ス テ ム	1 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	就業規則内に機密保護管理規定を設け、個人情報保護に努めている。	4	
	2 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	教員数、教室数、学生管理等、専修学校設置基準に準拠した運営を実施している。	4	
	3 文書管理規程、文書管理リスト(ファイル管理簿)ならびに決裁の流れを含む決裁規程(文書処理規程)が文書化されているか	2	文書管理規定は現在作成中。また全ての会議に議事録を必須化し、決裁フローの文書化が行われている。	3	(原)作成中として改善途中。
	4 自己点検・評価や内部監査の実施と問題点の改善に努めているか	3	自己点検非担当者による内部監査を実施し、自己点検・評価の問題点等の改善を抽出しているが、昨年指摘事項のすべてが改善されていない。	3.3	
	5 監査や評価基準の知識を有する適任者により適切に監査され、当該課程・部署の責任者に監査結果を報告しているか	4	研修修了者による監査を実施し、責任者に対して結果の報告を行う体制を整えている。	4	
	6 内部監査での指摘事項として、改善すべき点を明確にしているか	3	是正処置及び予防処置規定に則った形で運営されることで明確化されるが、全職員への浸透が不足している。	3.3	
	7 内部監査の結果を受けて取られる処置が、適切な時期及び適切な方法で実施されているか	3	是正処置及び予防処置規定に則った形で運営されることで実施されているが、全職員への浸透が不足している。	3.3	
	8 自己点検・評価結果を公開しているか	4	公式サイト内、学校情報ページにて過去のものも含めて公開している。	3.8	

① 課題

・文書管理規定が作成中となっている。また、監査体制は整備され改善点を明確にしているが、改善するところまで至っていない。

② 今後の改善方策

・監査で指摘されたことを改善する担当者を明確に決め、関係者間で共有する。

③ 特記事項

なし

《学校関係者評価委員会での意見》

なし

	評価項目: 適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1	自己点検・自己評価		学校関係者評価		
		評価	評価の理由	評価	コメント	
財務	1	財務について会計監査が適正に行われているか	4	会計監査を毎年実施し、監査報告書として文書で記録している。	4	
	2	財務情報公開の体制整備はできているか	4	決算後、財務状況を公式ホームページ内学校情報ページにアップしている。	4	
	3	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3	学生数の減少により、短期的に厳しい状況となったが、次年度は改善する見通しとなっている。	3.3	安定するため努力している(鈴木)
	4	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	収支計画、予算の策定など有識者による助言をもとに適切に作成し、実行している。	4	

① 課題

・会計監査、財務情報公開は適切になされているが、中長期的に見ると、見通しが明るいとは言えない。

② 今後の改善方策

・小・中学生の提携授業、職業教育のための総合学習の受け入れ等、低学年から本校に興味を持たせるための講座にも力を入れ、本校認知度をUPさせ入学者数を増やし、長期的に安定した在籍数を確保する。

③ 特記事項

なし

《学校関係者評価委員会での意見》

なし

	評価項目: 適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1	自己点検・自己評価		学校関係者評価		
		評価	評価の理由	評価	コメント	
社会貢献・地域貢献	1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	地元中高生の職業体験の受け入れや有名イラストレーターの特別授業を一般にも公募したり、社会人向けの卒業後セミナーを定期的に開催している。	4	
	2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	全学科にて、町おこしにもつながる地域・社会貢献と、人のために学んだ技術を使うという教育的観点の双方で、実になる活動を紹介、支援している。	4	
	3	地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	3	地域の学校からの教育訓練依頼を積極的に受け入れ、地元中高生向け職業理解教育に貢献できている。一方で、社会人まで参加できる公開講座の開催は散発的になっている。	3.5	スキルアップに関したOBOG+産業界向けの場のニーズはあり、主催ではなく共催・協力というポジションでOBOGが何らかの任意団体を組織してくれると良い(安武)

① 課題

・主に小中高校生のキャリア教育の情報源、発信源としての取組を強化する必要がある。

② 今後の改善方策

・教育施設の見学会や体験授業、商業施設でのものづくり体験などを継続的に実施しつつ、今後のデザインビューティー業界を担う児童生徒のキャリア教育において、導入的役割を果たす。

③ 特記事項

なし

《学校関係者評価委員会での意見》

なし

11 国際交流(必要に応じて)		自己評	自己評価の理由	学校関係者評価	コメント
1 1 国際交流(必要に応じて)	1	留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	-	-	
	2	留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	-	-	
	3	留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	-	-	
	4	学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	4	2年次・3年次の海外授業において、日本での学習成果を海外の教育機関や企業に向け共同制作・発表する等の機会を設けている	4

① 課題

なし

② 今後の改善方策

なし

③ 特記事項

- ・今年度実施した3年次海外授業の成果・問題点を検証し、2018年度の海外授業をより成果のあるものにブラッシュアップする。
- ・留学生の受入や派遣は、学習言語の点及び卒後の進路指導での制限(就職)の関係上、積極的に行っていない。

《学校関係者評価委員会での意見》

なし